

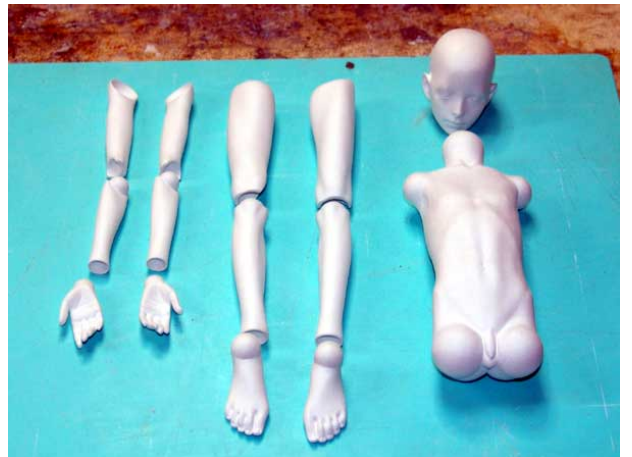
原型制作



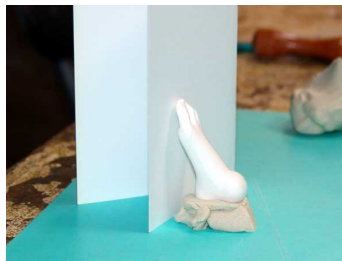
今回も油土で一次原型を制作していきます。
※ 詳しくはコンポジションドールの項をご覧ください。



ある程度印象が決まったところで型取りに入ります。



ラドールに置換え、成形器等で二次元形を完成させます。



パーティングラインを出します。
 パーツの置き方で出てくるラインが変わります。
 今回ヘッドは顎の中ほどで接するように、手は球の中心を通り親指と小指が水平になる位置に、足は指の腹で接するように、上腕は肩の断面が垂直になるように置きます。



ラインが出たら防水処理をします。
 サーフエーサー等で防水する場合は先に防水処理をしてからパーティングラインを出します。
 防水材が乾燥したら油性のサインペンでラインを引き直しておきます。



以上で原型の完成です。

次の工程はモールド(鋳込み型)の制作です。

教室の作業風景です。

BJD(球体関節)を作る方、ポーズ(衣裳)人形を作る方、操り人形を作る方と皆さん各様の素材と技法を学ばれています。
 手前の方は新しく買ったスマホの練習をされています。
 皆さん真面目です。

原型制作

